小6理科 大地のつくりと変化 No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 火山がふん火することによって、よう岩で川がせき止められて湖ができたり、火山灰で田畑がうまったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

- ○ 地震による大地の変化
- ○ 流れる水の働きによる大地の変化
- ○ 火山活動による大地の変化
- ○ 風や雨による大地の変化

問2 れきが砂といっしょに固まってできた岩石を何といいますか。

- ○ 泥岩
- ○ 砂岩
- ○ れき岩
- ○ 凝灰岩

問3 ボーリングを行う目的として、正しいものはどれですか。

- ○ 地上の気温の変化を記録するため。
- ○ 火山の噴火を止めるため。
- ○ 川の水の流れを速くするため。
- ○ 見えない地下の様子を調べるため。

問4 水で洗って虫眼鏡などで観察したときに、角ばっているつぶや、表面に小さな穴のあるつぶが多く見られるものは何ですか。

- ○ 川の砂のつぶ
- ○ 海の砂のつぶ
- ○ どろのつぶ
- ○ 火山灰のつぶ

問5 地震が起こるとき、大地ではどのようなことが起きていますか。

- ○ 大地が冷えて固まっている。
- ○ 大地が動いている。
- ○ 大地が水に溶けている。
- ○ 大地が風で削られている。

問6 砂やどろが混ざった土を水に流しこんだとき、つぶの大きさと沈む速さにはどのような関係がありますか。

- ○ つぶの小さいものの方が早く沈む。
- ○ つぶの大きいものの方が早く沈む。
- ○ つぶの大きさに関係なく、同時に沈む。
- ○ つぶの形が丸いものだけが早く沈む。

問7 地震が起きたときに、大地にずれ（断層）が生じて地割れが起きたり、がけがくずれたり、土地がもり上がったりして、大地のようすが変わることを何といいますか。

- ○ 流れる水の働きによる大地の変化
- ○ 火山の噴火による大地の変化
- ○ 地震による大地の変化
- ○ 風の働きによる大地の変化

問8 地層をつくっているれきや砂に流れる水のはたらきがあったと考えられるとき、そのれきや砂にはどのような特徴が見られますか。

- ○ 角がとれて丸みを帯びている。
- ○ 熱で溶けてガラスのようになっている。
- ○ すべて同じ大きさで平らになっている。
- ○ 地震の力で細かく粉々になっている。

問9 火山のふん火が起きたときに、火山から流れ出たり、広い範囲に降り積もったりするものはどれですか。

- ○ どろ水や砂利
- ○ よう岩や火山灰
- ○ 落ち葉や土
- ○ 水や空気

問10 生物の死がいから化石ができ、それが地上で見つかるまでの正しい順序はどれですか。

- ○ 水底にしずむ→土地がおし上げられて地上に現れる→土砂や砂・どろが積もる
- ○ 土地がおし上げられて地上に現れる→水底にしずむ→土砂や砂・どろが積もる
- ○ 土砂や砂・どろが積もる→水底にしずむ→土地がおし上げられて地上に現れる
- ○ 水底にしずむ→土砂や砂・どろが積もる→土地がおし上げられて地上に現れる

問11 津波は、どのようなことが原因で発生する現象ですか。

- ○ 海底で地震が起こること
- ○ 強い風が吹き続けること
- ○ 大雨が降り続くこと
- ○ 気温が急に上がること

問12 火山がふん火したときに、流れ出たよう岩が川をせき止めることによって新しくできるものは何ですか。

- ○ 滝
- ○ 海
- ○ 湖
- ○ 砂丘

問13 地震が起きたときに、大地に生じるずれのことを何といいますか。

- ○ 断層
- ○ 地層
- ○ 火山
- ○ 震度

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう